

平成24年度 環境活動レポート

活動期間 平成23年4月～平成24年3月



そおりサイクルセンター



大崎有機工場

有限会社 そおりサイクルセンター

発行 平成25年4月30日

有限会社 そおりサイクルセンター

環境方針

私たちは、豊かな恵みを育む美しく雄大な大隅山系と志布志湾を望む地にあって、より積極的に環境保全に取り組み、地球に優しく、地域環境を守り、地域社会に貢献していくという大きな使命と責任を持ち、当社の事業を推進してまいります。

主事業として、一般・産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理を行うにあたり、地域社会に信頼される企業であり続けるため、具体的な目標をもって事業に取り組みます。

<行動指針>

1. 環境法令・条例等の法的要求事項やその他の要求事項を順守します。
2. 省エネルギー、資源の有効利用を目指して、環境負荷削減に取り組みます。
 - (1) 電力消費並びに収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 使用原材料の省資源、廃棄物の4Rの推進
 - (3) 水資源の節水
 - (4) 有害な化学物質の管理
 - (5) 原材料及び事務用品のグリーン調達
 - (6) 環境負荷を削減するリサイクル技術・廃棄物処理技術の推進による製品の販売
 - (7) 地域社会の環境活動への積極参加と地域環境保全の推進これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
3. 環境保全のための従業員教育を積極的に行います。
4. 環境方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日：2009年4月1日

改訂日：2012年4月1日

有限会社 そおりサイクルセンター

代表取締役社長 宮地 光弘

I. 事業活動の概要

1. 事業所名及び代表者名

有限会社 そおりサイクルセンター
代表取締役 宮地 光弘

2. 事業場

(1) 本社工場（そおりサイクルセンター）
〒 899-7301
鹿児島県曾於郡大崎町菱田1218番地48



本社工場（そおりサイクルセンター）

(2) 大崎有機工場・ななくさ農園
〒 899-8313
鹿児島県曾於郡大崎町野方5473番地



大崎有機工場・ななくさ農園

(3) 松山有機工場
〒 899-7601
鹿児島県志布志市松山町尾野見1973番地



松山有機工場

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：原 優一
環境管理事務局：湯地 浩幸
連絡先 TEL 099-471-6050
FAX 099-477-2612
E-mail info@gomizero.info

4. 事業内容（登録の範囲）

- ・一般廃棄物収集運搬業（委託・事業系）
- ・一般廃棄物処理業（資源リサイクル） 本社工場
- ・一般廃棄物処理業（堆肥化） 大崎有機工場・松山有機工場
- ・有機野菜（生産）・（販売） ななくさ農園
- ・産業廃棄物収集運搬及び処理業 本社工場

5. 創業

- ・平成10年9月1日

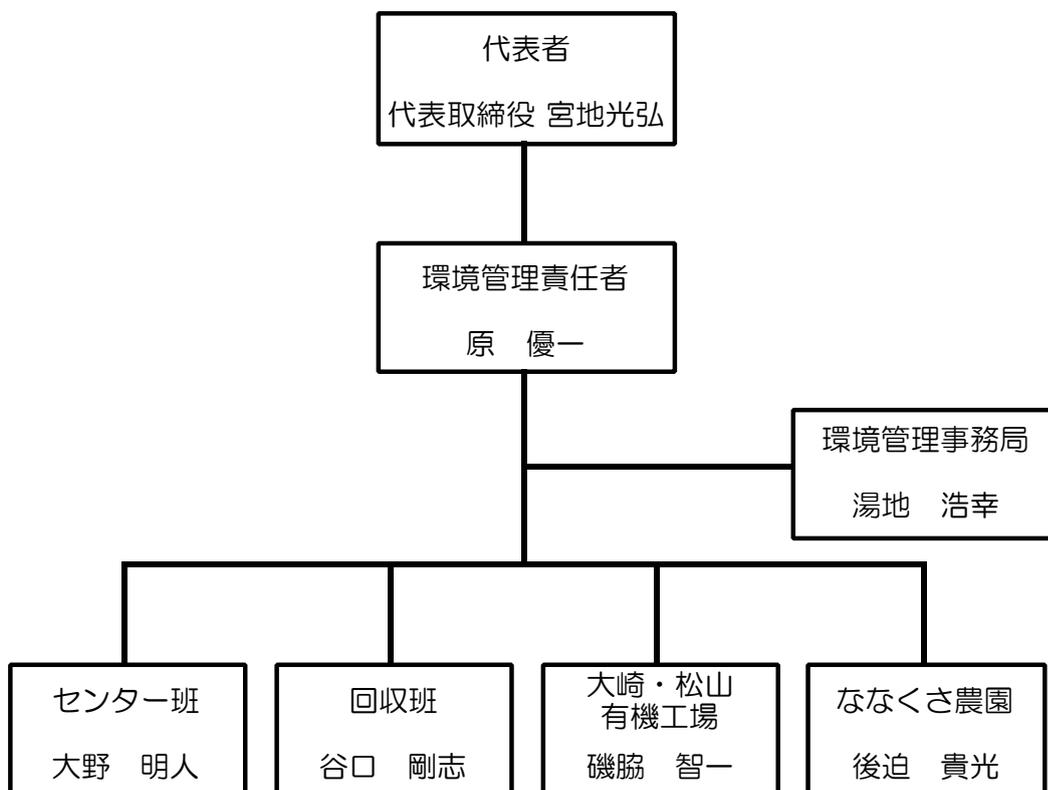
設立

- ・平成14年7月1日

6. 事業規模

資本金 5百万円
従業員 55名（アルバイト・シルバー含む）
売上高 130百万円（平成20年7月～平成21年6月） そおりサイクルセンター
売上高 15百万円（平成20年7月～平成21年7月） 大崎有機工場
売上高 50百万円（平成20年7月～平成21年8月） 松山有機工場

7. 環境管理組織体制



8. 事業許可の内容

※ 廃棄物処分業及び収集運搬関係

曾於市（大隅衛生企業 有限会社）

- ・一般廃棄物収集運搬業許可証 許可番号74号
- 許可年月日：平成23年10月18日～平成25年10月15日
- 業種：事業系一般廃棄物収集運搬業
- 取扱品目：可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・生ごみ

曾於市（有限会社 そおりサイクルセンター）

- ・一般廃棄物収集運搬業許可証 許可番号75号
- 許可年月日：平成24年2月7日～平成26年2月15日
- 業種：事業系一般廃棄物収集運搬業
- 取扱品目：可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・生ごみ

鹿屋市（大隅衛生企業 有限会社）

- ・一般廃棄物収集運搬業許可証 許可番号9号
- 許可年月日：平成23年12月1日～平成25年11月30日
- 業種：一般廃棄物収集運搬業
- 一般廃棄物の種類：ごみ

志布志市（大隅衛生企業 有限会社）

・一般廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 志市第1074号

許可年月日：平成23年4月1日～平成25年3月31日

業種：一般廃棄物収集運搬業

取扱品目：資源ごみ・生ごみ・事業系ごみ・粗大ごみ・一般ごみ・草木剪定枝

志布志市（大隅衛生企業 有限会社）

・一般廃棄物処理業許可証 許可番号 志市第465号

許可年月日：平成24年9月13日～平成26年9月12日

業種：一般廃棄物処理業

取扱品目：生ゴミ・草木剪定枝・農集汚泥・廃油・し尿

大崎町（大隅衛生企業 有限会社）

・一般廃棄物収集運搬業許可証

許可年月日：平成23年4月1日～平成25年3月31日

業種：一般廃棄物収集運搬業

取扱品目：資源ゴミ

大崎町（有限会社 そおりサイクルセンター）

・一般廃棄物収集運搬業許可証

許可年月日：平成23年4月1日～平成25年3月31日

業種：一般廃棄物収集運搬業

取扱品目：一般ごみ・生ごみ・粗大ごみ

大崎町（有限会社 そおりサイクルセンター）

・一般廃棄物処理業許可証

許可年月日：平成23年4月1日～平成25年3月31日

業種：一般廃棄物処理業（中間処理施設・破碎を含む）

取扱品目：空缶・ペットボトル・その他プラ・古紙・乾電池・蛍光灯他

大崎町（有限会社 そおりサイクルセンター）

・一般廃棄物処理業許可証

許可年月日：平成24年4月1日～平成26年3月31日

業種：一般廃棄物処理業（堆肥化）

取扱品目：生ゴミ・木くず（草木剪定枝等）

鹿児島県（大隅衛生企業 有限会社）

・一般廃棄物処理施設設置許可証 許可番号 指令廃り第2号

許可年月日：平成23年7月28日

業種：ごみ処理施設（破碎施設）

取扱品目：生ごみ・木くず（草木剪定枝等）

鹿児島県（有限会社 そおりサイクルセンター）

・一般廃棄物処理施設設置許可証 許可番号 指令廃り第1号

許可年月日：平成23年7月28日

業種：ごみ処理施設（破碎施設）・（堆肥化施設）

取扱品目：生ごみ・木くず（草木剪定枝等）

鹿児島県（大隅衛生企業 有限会社）

・産業廃棄物処理施設設置許可証 許可番号 指令廃り第4号の2

許可年月日：平成23年7月28日

業種：木くずの破碎施設

取扱品目：木くず

鹿児島県（有限会社 そおりサイクルセンター）

・産業廃棄物処理施設設置許可証 許可番号 指令廃リ第4号の3

許可年月日：平成23年7月28日

業種：木くずの破碎施設

取扱品目：木くず

鹿児島県（大隅衛生企業 有限会社）

・産業廃棄物処分業許可証 許可番号 04627019803号

許可年月日：平成22年4月7日～平成27年4月6日

業種：中間処理（堆肥化）

取扱品目：汚泥・廃油・廃酸・木くず・動植物性残さ・動物の糞尿

鹿児島県（有限会社 そおりサイクルセンター）

・産業廃棄物処分業許可証 許可番号 04626115223号

許可年月日：平成24年2月3日～平成26年12月27日

業種：中間処理（圧縮）・（破碎）・（石鹼化）

取扱品目：廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず・
陶磁器くず・木くず・廃油

鹿児島県（大隅衛生企業 有限会社）

・産業廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 04610019803号

許可年月日：平成21年6月6日～平成26年6月6日

業種：産業廃棄物収集運搬業

取扱品目：廃プラスチック類・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず
陶磁器くず・がれき類・燃え殻・汚泥・廃油・木くず等

鹿児島県（有限会社 そおりサイクルセンター）

・産業廃棄物収集運搬業許可証 許可番号 04619115223号

許可年月日：平成24年6月22日～平成29年6月21日

業種：中間処理（圧縮）・（破碎）・（石鹼化）

業種：産業廃棄物収集運搬業

取扱品目：廃プラスチック類・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず
陶磁器くず・がれき類・燃え殻・汚泥・廃油・木くず等

9. 施設等の状況

そおりサイクルセンター



収集運搬パッカー車 11台



トラック 10台



フォークリフト等 4台

中間処理施設：プラスチック圧縮機、空缶プレス機、ペットボトル圧縮機、廃油燃料装置等



廃油燃料（BDF）製造装置

大崎・松山有機工場



堆肥化車両 タイヤショベル 4台



コンボ 1台



破碎機 2台

他に、フォークリフト、バキューム車、ダンプ等多数

ななくさ農園

農業作業車 : トラクター 5台

農業作業車 : コンバイン 2台



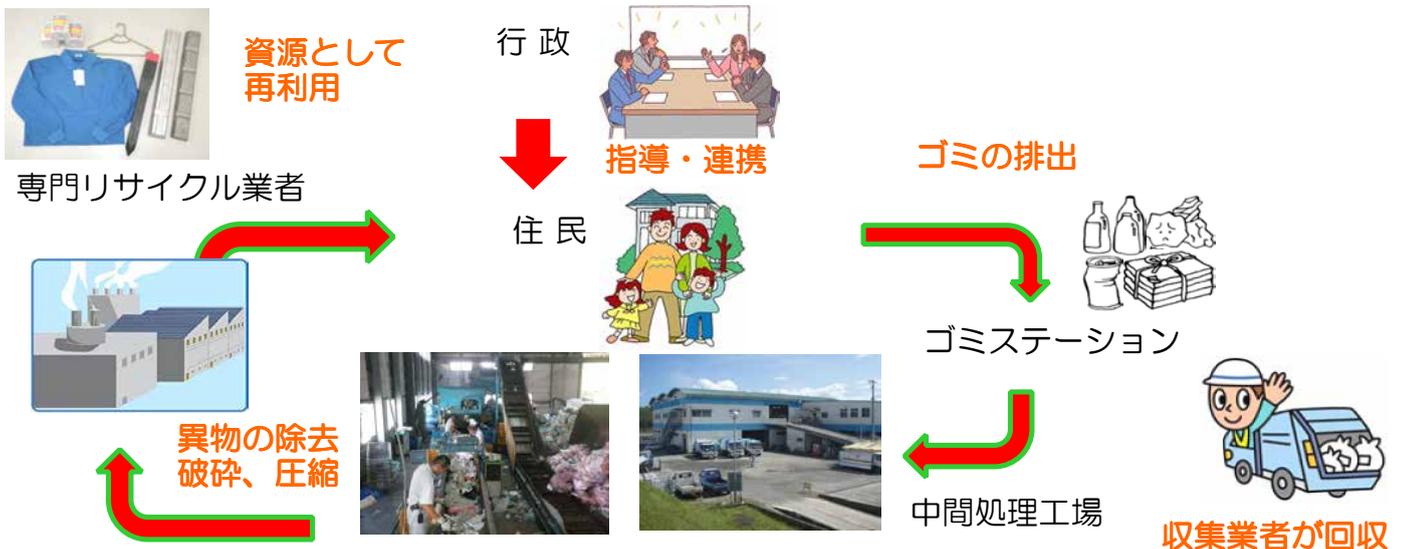
10. そおりサイクルセンター事業概要

住民・行政・そおりサイクルセンターが協働で、曾於市・志布志市・大崎町の一般廃棄物の収集運搬と中間処理を行っています。処理能力は約10万人規模の施設となっています。

- ・一般廃棄物の収集、運搬及び中間処理場、最終処分場の運営、管理業務
- ・産業廃棄物の収集、運搬及び中間処理場、最終処分場の運営、管理業務
- ・堆肥の製造、販売及びこれらによる農作物栽培の研究開発業務
- ・有機飼料、有機肥料の製造および販売
- ・培養土、腐食土の生産、加工、販売
- ・有機質を利用した無農薬栽培食品の生産、加工並びに販売
- ・自然農法による野菜果物等の生産及び販売



志布志・大崎町の資源リサイクルのシステム



分別品目とリサイクル製品

収集・運搬・分別		専門リサイクル業者
1. 空き缶類 アルミ缶 スチール缶	→ プレス機で圧縮	→ アルミ製品材料 鉄骨、建築資材
2. 生きビン		→ 酒造メーカー再利用
3. 茶ビン		→ 茶ビン・防犯砂利
4. 透明ビン		→ 透明ビン・防犯砂利
5. その他ビン		→ タイル・土木建築資材・ビー玉・おはじき等
6. ペットボトル	→ プレス機で圧縮	→ 服・軍手・卵パック等
7. ダンボール		→ ダンボール
8. 新聞紙		→ 新聞
9. チラシ		→ 新聞等
10. 雑誌		→ 雑誌等
11. 雑古紙		→ 雑誌・ダンボール
12. コピー用紙		→ ティッシュ等
13. シュレッダー紙		→ トイレトペーパー等
14. 紙パック		→ ティッシュ等
15. 紙箱・包装紙類		→ 下ボール・雑誌等
16. その他の紙		→ 固形燃料
17. 蛍光灯		→ ガラス・金属・水銀に分けて再生
18. 乾電池		→ 金属・有害物質に分けて再生
19. 古布		→ ウェス
20. 廃食油	→ 化学反応	→ 軽油代替燃料、石鹸
21. プラスチック類	→ プレス機で圧縮	→ プラスチック製品材料
22. スプレー缶		→ 溶かして金属製品
23. 雑金属		→ 溶かして金属製品
24. 割りばし		→ 堆肥
25. 生ごみ		→ 堆肥
26. 陶器類		→ 路盤材
27. 一般ゴミ		→ 埋立
28. 粗大ゴミ	→ 手作業による分別 金属・木製品・その他	→ 資材、固形燃料、埋立

廃棄物の約8割が資源として再利用されています

事例 プラスチックリサイクルの流れ



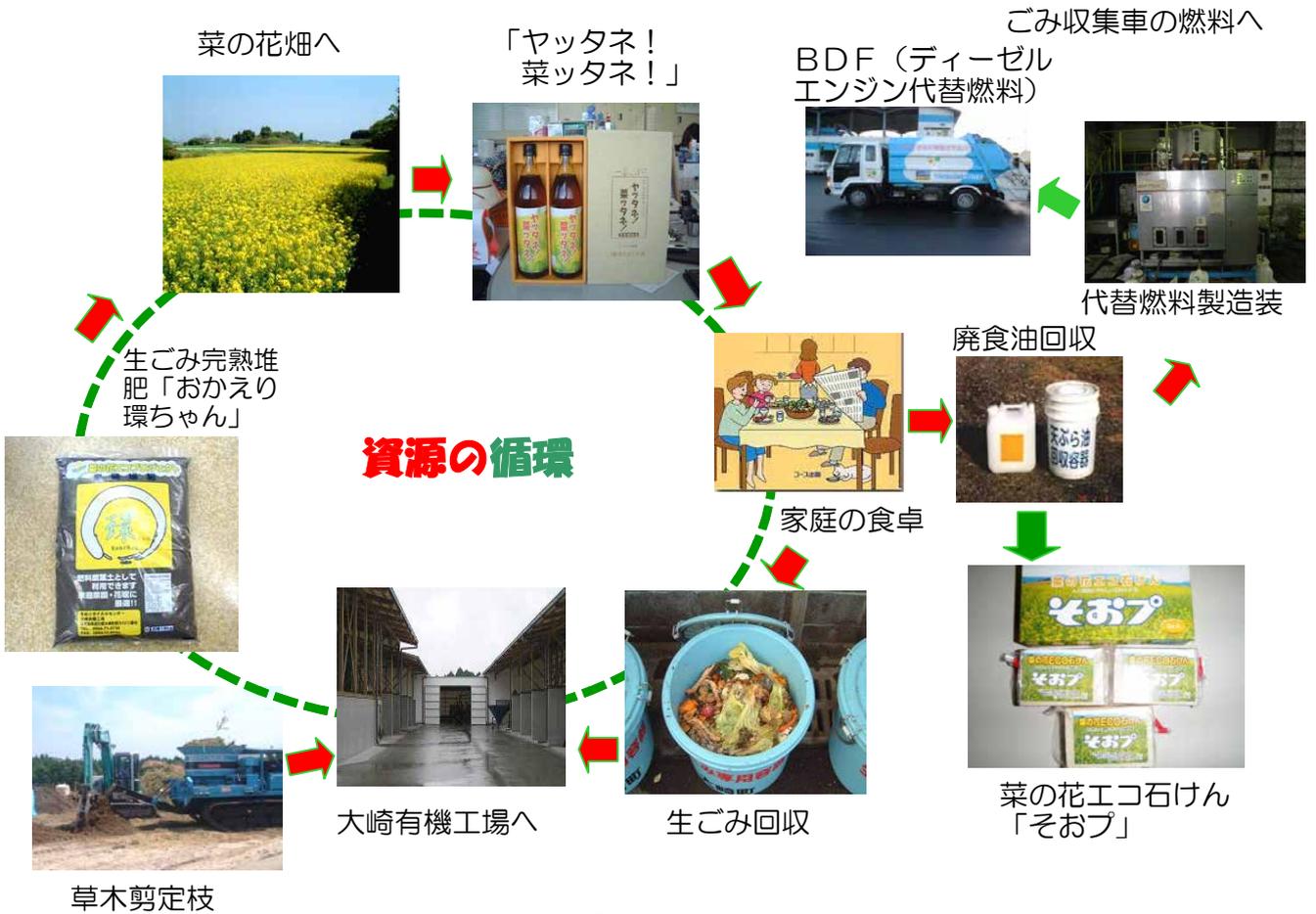
その他の中間処理装置・設備



事例 生ごみ堆肥化の流れ



事例 菜の花エコプロジェクト



II. 平成24年度環境目標とその実績（そおりサイクルセンター）

当社における平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）までの実績を把握し、平成24年4月～平成25年3月までの目標と計画及び実績について評価を行いました。

項目		単位	平成23年度	平成24年度	
			H23/4～H24/3	H24/4～H25/3	
			実績 (基準値)	評価	
			12ヵ月目標	12ヵ月実績	
CO ₂ 排出量	燃料使用量	kg-CO ₂	216,624	214,457 前年比△1.0%	218,186 前年比▲1.0%
	電気使用量	kg-CO ₂	55,080	54,529 前年比△1.0%	43,939 前年比△20.0%
廃棄物	一般廃棄物 ※1	kg	542.1	531.3 前年比2△%	301.6 前年比△44.0%
水資源	水使用量	m ³	950.0	941.0 前年比△1.0%	1152.0 前年比▲18.0%

※1 : 自社ごみ、リサイクルごみ

・平成25年度から平成26年度までの目標

項目		単位	平成25年度	平成26年度
			H25/4～H26/3	H26/4～H27/3
			環境目標（平成23年度比）	環境目標（平成23年度比）
CO ₂ 排出量	燃料使用量	kg-CO ₂	212,291 △2%削減	210,125 △3%削減
	電気使用量	kg-CO ₂	53,978 △2%削減	53,427 △3%削減
廃棄物	一般廃棄物 ※1	kg	525.8 △3%削減	520.4 △4%削減
水資源	水使用量	m ³	931 △2%削減	922 △3%削減
有害な化学物質の管理			調査と平成25年度計画策定	目標設定と計画推進
グリーン調達			調査と平成26年度計画策定	目標設定と計画推進
環境配慮の製品販売			準備と平成25年度計画策定	目標設定と計画推進
地域社会貢献			準備と平成25年度計画策定	目標設定と計画推進

II. 平成24年度環境目標とその実績（大崎有機工場）

当社における平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）までの実績を把握し、平成24年4月～平成25年3月までの目標と計画及び実績について評価を行いました。

項目		単位	平成23年度	平成24年度	
			H23/4～H24/3	H24/4～H25/3	
			実績 (基準値)	評価	
				12ヵ月目標	12ヵ月実績
CO ₂ 排出量	燃料 使用量	kg-CO ₂	144,069	142,628 前年比△1.0%	113,926 前年比△21.0%
	電気 使用量	kg-CO ₂	62,894	62,265 前年比△1.0%	57,089 前年比△9.0%
廃棄物	一般 廃棄物 ※1	kg	1,279.0	1,266.2 前年比△1.0%	1,018.4 前年比△20.0%
水資源	水使用量	m ³	1,299.0	1,286.0 前年比△1.0%	908.0 前年比△30.0%

※1： 自社ごみ、リサイクルごみ

・平成25年度から平成26年度までの目標

項目		単位	平成25年度	平成26年度
			H24/4～H25/3	H25/4～H26/3
			環境目標（平成22年度比）	環境目標（平成22年度比）
CO ₂ 排出量	燃料 使用量	kg-CO ₂	141,187 △2.0%削減	139,747 △3.0%削減
	電気 使用量	kg-CO ₂	61,636 △2.0%削減	61,008 △3.0%削減
廃棄物	一般 廃棄物 ※1	kg	1253.4 △2.0%削減	1240.6 △3.0%削減
水資源	水使用量	m ³	1,273 △2.0%削減	1,260 △3.0%削減
有害な化学物質の管理			調査と平成25年度計画策定	目標設定と計画推進
グリーン調達			調査と平成26年度計画策定	目標設定と計画推進
環境配慮の製品販売			準備と平成25年度計画策定	目標設定と計画推進
地域社会貢献			準備と平成25年度計画策定	目標設定と計画推進

II. 平成24年度環境目標とその実績（松山有機工場）

当社における平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）までの実績を把握し、平成24年4月～平成25年3月までの目標と計画及び実績について評価を行いました。

項目		単位	平成23年度	平成24年度	
			H23/4～H24/3	H24/4～H25/3	
			実績 (基準値)	評価	
			12ヵ月目標	12ヵ月実績	
CO ₂ 排出量	燃料 使用量	kg-CO ₂	107,483	106,408 前年比△1.0%	118,168 前年比▲9.0%
	電気 使用量	kg-CO ₂	50,938	50,428 前年比△1.0%	49,381 前年比△3.0%
廃棄物	一般 廃棄物 ※1	kg	(大崎・松山工場共通)	(大崎・松山工場共通)	(大崎・松山工場共通)
水資源	水使用量 ※2	m ³			

※1 : 自社ごみ、リサイクルごみ

※2 : 水資源は使用しないため、水使用量はなし。

・平成25年度から平成26年度までの目標

項目		単位	平成25年度	平成26年度
			H24/4～H25/3	H25/4～H26/3
			環境目標（平成22年度比）	環境目標（平成22年度比）
CO ₂ 排出量	燃料 使用量	kg-CO ₂	105,333 △2.0%削減	104,259 △3.0%削減
	電気 使用量	kg-CO ₂	49,919 △2.0%削減	49,410 △3.0%削減
廃棄物	一般 廃棄物 ※1	kg	(大崎・松山工場共通)	(大崎・松山工場共通)
水資源	水使用量	m ³		
有害な化学物質の管理			調査と平成25年度計画策定	目標設定と計画推進
グリーン調達			調査と平成26年度計画策定	目標設定と計画推進
環境配慮の製品販売			準備と平成25年度計画策定	目標設定と計画推進
地域社会貢献			準備と平成25年度計画策定	目標設定と計画推進

Ⅲ. 平成24年度環境活動計画の主要内容及び評価と次年度の取り組み

	リサイクルセンター	大崎工場 ななくさ農園	松山工場
1.二酸化炭素の排出量の削減			
(1) 自動車燃料使用量の削減			
①無用なアイドリングをしない。	○	○	○
②車間距離を守り、急加速、急減速をしない。	○	○	○
③冷暖房を控え目にする。	○	○	○
④低燃費車に更新する。	○		
(2) 電気使用量の削減			
①不要照明の消灯。	○	○	○
②外灯タイマー時間の調整。	○	○	○
③エアコンの冷暖気運転抑制。	○	○	○
④節電表示を貼る。	○	○	○
⑤エアコンフィルター清掃を定期的に行う。	○	○	○
⑥エアコン室内温度設定を 夏28℃ 冬20℃に設定。	○	○	○
2. 一般廃棄物の削減			
①ゴミ分別を徹底する。	○	○	○
②ミスコピーの防止に努める。	○	○	○
③ミスコピーの裏紙使用。	○	○	○
④LAN活用による事務の合理化。	○	○	○
3.水資源の削減			
①給水栓付近に節水呼びかけ表示をする。	○	○	○
②雨水タンクの設置。	○	○	○
③雨水を植木や洗車に利用する。	○	○	○
④節水こまの取り付けを行う。	○	○	○

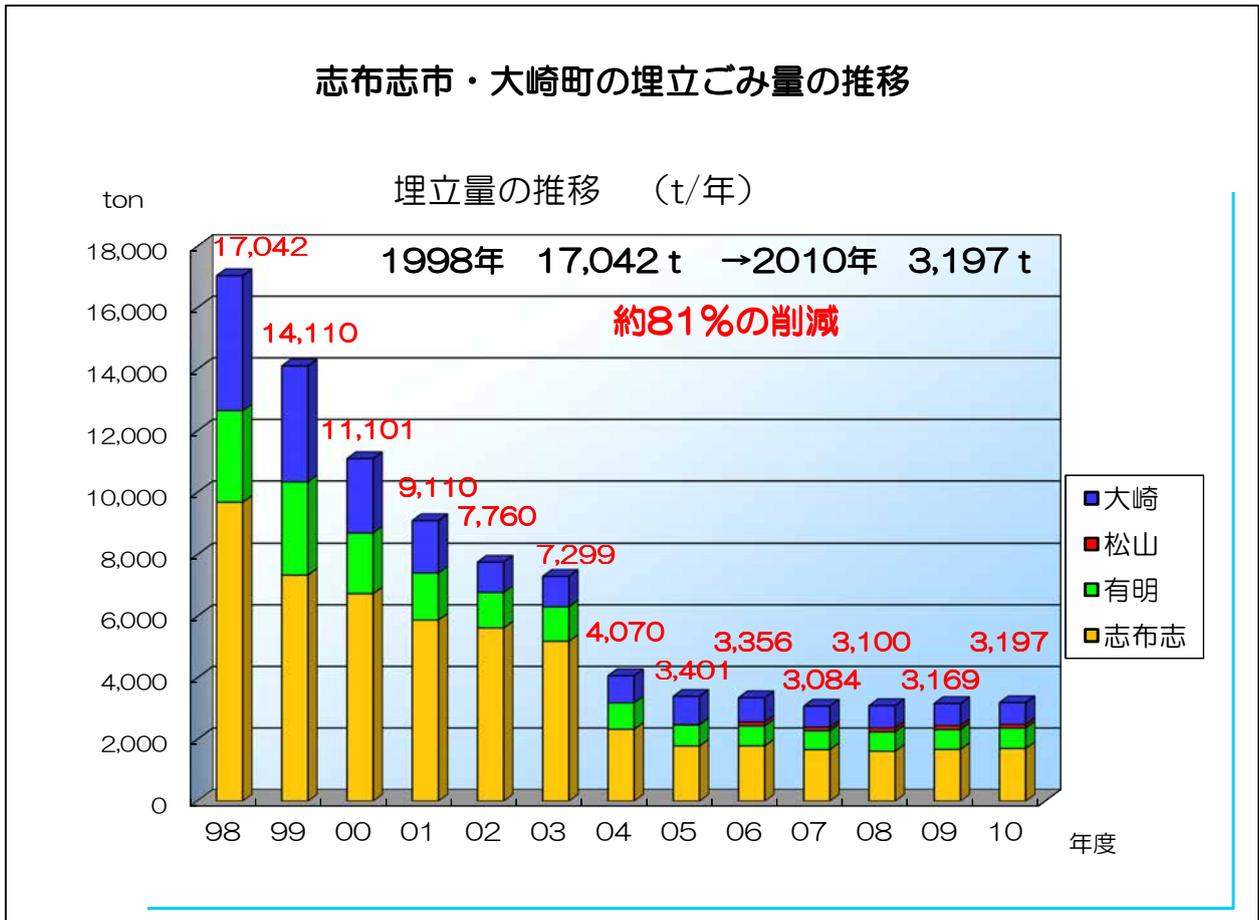
【次年度の取り組み】

基本的には、本年度の取組を継続して行きますが、リサイクルセンターでは電気使用量、水使用料が未達、松山有機工場では燃料使用量が廃棄物の受け入れ量増大の為、未達であった事から、取組を強化すると共に目標設定の見直しを検討します。

新たな目標項目については、平成24年度は準備年度として調査や具体的な活動計画を策定して行くものとします。

IV 中間処理による埋立ごみ量の削減

志布志市・大崎町はごみ焼却場が無く、全てのごみは資源化と埋立で家庭ごみを処理しています。その資源化の中間処理をそおりサイクルセンターで行っています。現在は、80%以上が資源化され、住民・行政・当リサイクルセンターによる地域循環型のしくみが出来ています。下記グラフは、家庭などからでるごみの埋立量の削減推移の実績です。



<効 果>

1. 行政のメリット

焼却処分すると約35円～50円の処理費がかかるが、堆肥化することにより、生ごみで約12円、草木で約4円の処理費で大幅なコストダウンになっています。また、有機堆肥は、有料で販売しています。

2. 地域住民のメリット

埋立ごみの週3回の回収から、生ごみは週3回の回収になっています。悪臭の防止や動物によるごみステーションの散乱が少なくなりました。

3. ごみ処理費の比較（一人当たり）

日本全体	11,266円/人
鹿児島市	9,711円/人
志布志市	5,751円/人
大崎町	4,915円/人

出展：環境省平成21年度「一般廃棄物の排出及び処理状況等について」より

V 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21への取り組みにより、全職員の環境に対する意識が高まりました。環境マネジメントシステムも一部の取組から全体へと広がっています。今後も継続して全員参加で取り組む活動になるようにシステムを強化して行きます。

環境負荷削減では、そおりサイクルセンターは、燃料使用量、水使用量が未達でした。大崎有機工場では、燃料使用量、電力使用量、一般廃棄物、水使用量等すべてにおいて達成しましたが、松山有機工場では、燃料使用量が未達でした。

今後の取り組みを強化する必要があります。

機械導入や機械稼働率などが多くなるので基準値設定を見直し、目標達成出来るように活動を強化して行きます。

今後もエコ意識を高め、地域と共に環境対策に取り組んでいきます。

VI 平成24年度環境関連法規制等の順守状況、法違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法・条例等は次の通りです。

法令・条例名	該当する設備・項目	要求事項
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業	許可・更新 保管表示 処理実績報告
	一般廃棄物中間処理業	
	産業廃棄物収集運搬業	許可・更新 保管表示 マニフェスト発行管理 処理実績報告
	産業廃棄物中間処理業	
消防法	メタノール	少量危険物貯蔵届出 維持管理
	BDF（代替燃料）	
	軽油	
環境保全協定書	角堂自治会	協定 騒音など測定結果報告 異常時の連絡、他
	学校区自治会	
	村岡団地	
	桃木自治会	

環境関連法規制等の順守状況を評価した結果、環境法規制等の逸脱はありません。また、過去3年間にわたって法的違反や訴訟、苦情はありません。（平成25年3月末現在）

Ⅶ 平成24年度地域環境活動の記録・その他の活動・環境活動の事例

①会社周辺の清掃活動 (毎週月曜日、木曜日、散乱ゴミ拾い)



②環境学習 (農業体験、自然体験)



③フリーマーケット (各町祭り) 古布・古本販売 職場体験



以上